

## 肺所属リンパ節に限局した淡明細胞形態を呈する肺低分化癌の1例

小澤亮太<sup>1</sup>;山本学<sup>1</sup>;牛島祐哉<sup>1</sup>;廣田周子<sup>1</sup>; 牧野睦月<sup>2</sup>, 伊藤以知郎<sup>3</sup>

所属機関:

日本赤十字社 長野赤十字病院 呼吸器内科<sup>1</sup>, 病理部<sup>3</sup>

JA 長野厚生連 南長野医療センター 篠ノ井総合病院 病理診断科<sup>2</sup>

### 【要旨】

67歳男性. 体重減少を主訴に前医を受診した. 右鎖骨上窩リンパ節の経皮的針生検で淡明細胞形態を呈する低分化癌を認めた. 病変は右鎖骨上窩から右肺門縦隔リンパ節に限局していた. 更なる精査と治療のため当院へ紹介となった. 稀な細胞形態の T0 肺癌と診断し, carboplatin + paclitaxel による同時併用化学放射線療法と durvalumab の地固め療法を施行した. 腫瘍は完全奏功となった.

### 【キーワード】

肺淡明細胞癌 (clear cell carcinoma of the lung)

T0 肺癌 (T0 lung cancer)

### 【短縮タイトル】

肺所属リンパ節に限局した淡明細胞形態の肺低分化癌